

BV-AVD療法

治療スケジュール

	外観	お薬名	薬の効果	スケジュール (点滴時間)	
				1日目	2-14日
1		デキサメタゾン ホスアプレピタント	吐き気止め	30分	お休み
2		パロノセトロン	吐き気止め	ゆっくり 静注	お休み
3		ドキソルビシン	腫瘍の増殖を 抑える	30分	お休み
4		ビンブラスチン	腫瘍の増殖を 抑える	5分	お休み
5		ダカルバジン	腫瘍の増殖を 抑える	30分	お休み
6		ブレンツキシマブ ベドチン	腫瘍の増殖を 抑える	30分	お休み

☆点滴治療中に気をつけて頂きたいこと
＜アレルギー症状＞

*2回目以降でも出ることがあります。

*点滴2時間以内に出ることが多いです。

- ・ 息苦しい
- ・ 顔がほてる
- ・ 胸が痛い
- ・ 汗が出る
- ・ 心臓がドキドキする
- ・ 発疹が出る

このような症状があればすぐに看護師に伝えてください。

治療の副作用について

吐き気 嘔吐

個人差はありますが、点滴開始後1～4時間後より始まり、通常1～7日以内に治まります。

<対策>

- ・ 食べられるものを無理せず、食べられるだけ食べてください。
- ・ 水分をなるべく摂ってください。（スポーツドリンク、お茶など）
- ・ 脂っこい食べ物は消化に悪いので、適度に食べてください。
- ・ 気分転換に音楽を聴いたり、自分の好きなことをするのも良いです。
- ・ 吐き気止めの薬があるので、我慢せずに看護師に伝えてください。

骨髄抑制

血液の成分（白血球、赤血球、血小板）が低下することで、骨髄抑制は、治療後8～12日頃に起こりやすいです。

1) 白血球が低下すると感染症を引き起こしやすくなります。

<症状>

- ・ 風邪のような症状（咳、熱など）
- ・ 膀胱炎のような症状（排尿時痛など）

<対策>

- ・ 人ごみを避けてください。（外へ行くときはマスクを付ける）
- ・ 外出から帰ったら、うがい、手洗いをしてください。
- ・ 傷をつくらないようにしましょう。
- ・ 入浴、歯磨きをしっかりと体を清潔に保つようにしましょう。
- ・ 必要に応じて、抗生物質や白血球を増やす薬を使うことがあります。

2) 赤血球が減少すると、貧血症状（動悸、息切れ、だるさ、ふらつき）が起こります。

<対策>

- ・ ゆっくり起き上がるようにしましょう。
- ・ めまい、ふらつきがひどい時は、看護師に伝えてください。

3) 血小板が減少すると、出血しやすくなります。

<対策>

- ・ やわらかい歯ブラシで、やさしく歯磨きしてください。
- ・ 鼻を強くかまないでください。

脱毛

個人差はありますが、投与3～4週間後あたりから毛が抜け始めます。脱毛は一時的なもので、投与が終了して6～8週間後ごろには毛が生え始め、約半年でほぼ回復します。

<対策>

- ・ 毛先のやわらかいブラシを使いましょう。
- ・ シャンプーは中性の刺激の少ないものを使いましょう。
- ・ スカーフ、帽子、かつらなどを使う方法もあります。

＊カツラのご相談は外来化学療法室看護師までお申し付けください。

便秘

薬を使ってコントロールできます。水分を十分取り、可能な範囲で軽い運動をしましょう。

心臓の障害

全身のむくみや、脈の乱れ、息切れの障害などの症状が出たら、速やかに申し出てください。頻度は少ないですが、重篤な場合もあります。

＊もともと心臓や呼吸器に疾患をお持ちの方は主治医にご相談ください。

神経障害（手足のしびれなど）

治療後2～3日から起こることがあります。投与の回数を重ねるうちに増強する場合があります。適切な対応とるために早めにご相談ください。また、日常生活に支障をきたすことがあればお伝えください。感覚の麻痺した手や足への切傷ややけどに注意しましょう。

血管痛

抗がん剤には血管刺激性があり、静脈に炎症が起こしたり、炎症の徴候である発赤、腫れ、痛み、硬結などが静脈に沿って出現することがあります。対策として、血管を温めることにより血管を広げ、薬の接触を減らすことで症状が軽減されることがあります。

口内炎

治療後5～14日に起こりやすいです。治療前に虫歯を治し、こまめにうがいをして常に口腔内を清潔に保ちましょう。歯ブラシは柔らかいものを使うと良いです。口内炎ができた時は塗り薬やうがい薬を使うこともできます。

主な副作用を記載していますが、気になる症状があれば、担当医、薬剤師、看護師にご相談ください。

名古屋記念病院